#### 第13回近畿ブロック介護老人保健施設大会in大阪

#### 地域包括ケアシステムにおける 老健施設の在り方と 震災時における大型施設の役割

公益社団法人全国老人保健施設協会 会 長 木川田 典彌



## 私の座右の銘

『遥か彼方に』





# 岩手県 盛岡市 大槌町 大船渡市 陸前高田市 私の生地

#### 社会福祉法人 リアス福祉会

- 障がい者支援施設「四季の郷」
- 相談支援事業所「四季」

#### 社会福祉法人 典人会

- ・介護者人福祉施設「ひまわり」 ・気仙デイサービスセンター(認知症専門・寝たきり専門)
- 認知性グループホーム「ひまわり」
- ・ひまわりデイサービスセンター
- ひまわり居宅介護支援事業所
- ・末崎町在宅介護支援センター
- ・末崎町デイサービスセンター・小規模多機能ホーム「平」
- ・認知症グループホーム「平」
- ・ 小規模多機能ホーム「後ノ入」
- 認知症グループホーム「後ノ入」

- 児童養護施設「大洋学園」
- ・児童家庭支援センター「大洋」
- 就労継続支援事業[B型]「慈愛福祉学園」
- ・生活介護事業[多機能型]「慈愛福祉学園デイサービスセンター」
- 就労継続支援事業[多機能型]「朋友館」
- 就労継続支援事業[B型]「星雲工房」
- ・地域活動支援センター/相談支援事業「星雲」
- 指定管理事業「岩手県立福祉の里センター」

#### 医療法人 勝久会

- 地ノ森クリニック
- 介護老人保健施設「気仙苑」
- 気仙訪問看護ステーション
- ・大船渡市在宅介護支援センター
- 気仙指定居宅介護支援事業所
- ケアプランセンター気仙
- ・気仙地域リハビリ広域支援センター
- 綾里ディサービスセンター
- 認知症グループホーム「綾姫」

#### 医療法人 希望会

#### 東北地方太平洋沖地震に係る人的被害・ 建物被害状況一覧

			人口数 (H23年3月1日)	死者•行方不明者 (人)	人口に対する 死亡率(%)	家屋倒壊数(棟)
陸	前高田	市	23,164	1,778	7.68	3,341
大	船渡	市	40,643	421	1.04	3,629
釜	石	市	39,119	1,041	2.66	3,652
大	槌	町	15,239	1,276	8.37	3,717
Щ	H	町	18,634	754	4.05	3,167
宮	古	市	58,917	516	0.88	4,005
岩	泉	町	10,597	7	0.07	200
田	野畑	村	3,831	29	0.76	270
並目	代	村	3,071	1	0.03	0
野	田	村	4,613	38	0.82	479
久	慈	市	36,568	4	0.01	278
洋	野	町	17,823	0	0	26
総		計	_	5,865	_	22,764

(岩手県総務部総合防災室 平成24年9月26日時点)

# 大船渡市の震災犠牲者の年代(人)(東日本大震災の津波)

	男	女	計(構成比)
0 ~ 9 歳	2	1	3 (1%)
10~19歳	3	2	5 (2%)
20~29歳	2	3	5 (2%)
30~39歳	10	5	15 (4%)
40~49歳	9	8	17 (5%)
50~59歳	23	10	33 (10%)
60~69歳	23	23	46 (13%)
70~79歳	34	42	76 (22%)
80~89歳	39	72	111 (33%)
90歳以上	7	21	28 (8%)
計	152	187	339 (100%)

#### 東日本大震災による被害状況

一2医療法人と3社福法人における一

	2区景仏人では田仏人にのける	
1.	人的被害	
	1)当日の利用者・入所者被害なし	
	2) 当日の職員被害なし	
	3)当日の非番職員死亡3名	
2.	施設被害	
	1)病院小規模損壊	1ヶ所
	2) 老健施設中規模損壊	1ヶ所
	小規模損壊	1ヶ所
	3) ①ディサービス事業所流失・全壊	1ヶ所
	一部損壊	1ヶ所
	②グループホーム 一部 損 壊	1ヶ所
	③小規模多機能ホーム 浸 水 損 壊	1ヶ所

1ヶ所

#### 岩手県立高田病院に押し寄せる津波



3月11日15時27分。 4階病棟から海側の高田松原方面を見る。手前は2階建ての手術棟の屋根。

#### 岩手県立高田病院に押し寄せる津波



15時28分。

#### 岩手県立高田病院に押し寄せる津波



15時28分。

## 岩手県立高田病院



国道340号線から津波に飲まれた高田病院、高田松原方面を見る。

## 風評被害の恐ろしさ



# 風評被害の恐ろしさ





# 認知症専門デイサービスセンター 140年前の民家改修型





#### 小規模多機能型居宅介護事業所 100年前の民家改修型



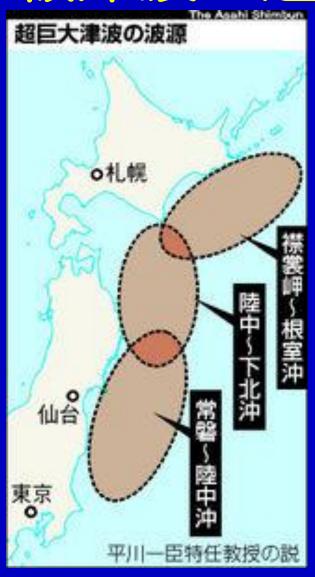


#### 過去3500年に発生した三陸巨大津波の年代と 想定震源域 (平川-臣 北大特任教授による)

<b>震源域</b> 年代	東日本大震災の 陸中〜常磐沖 (三陸沖南部)	陸奥~陸中 (三陸沖北部)	襟裳岬~十勝 ~根室沖 (道南~道東)	根室~ 色丹島沖 (道東)
2011年 3月11日	O			
17世紀初頭			0	O
12~13世紀		O		
869年貞観津波	O			
2000年前	Δ	O		
2400年前	O		O	
3000年前		O		
3500年前	O		O	O

〇=震源域全体が活動 △=一部が活動

## 3 • 11級津波 過去7回



### 三陸海岸沖の津波

発生年	名称	発生間隔年数
869年	貞観の大津波	
1611年	慶長三陸津波 >	66年
1677年	延宝三陸津波	86年
1763年	宝暦三陸津波	93年
1856年	安政三陸津波	40年
1896年	明治三陸大津波	37年
1933年	昭和三陸津波	
2011年	太平洋沖津波	78年

※津波発生平均年数 67年

#### 三陸津波の波高

慶長三陸地震

1611年 M 8.1

明治三陸地震

1896年 M 8.2~8.5

昭和三陸地震

1933年 M 8.1

チリ地震

1960年 M 8.5

東日本大震災

2011年 M 9.0

最大波高 20m

(田老町、大船渡市)

最大波高 38.2m

(大船渡市)

最大波高 28.7m

(大船渡市)

最大波高 6.3m

(宮古市)

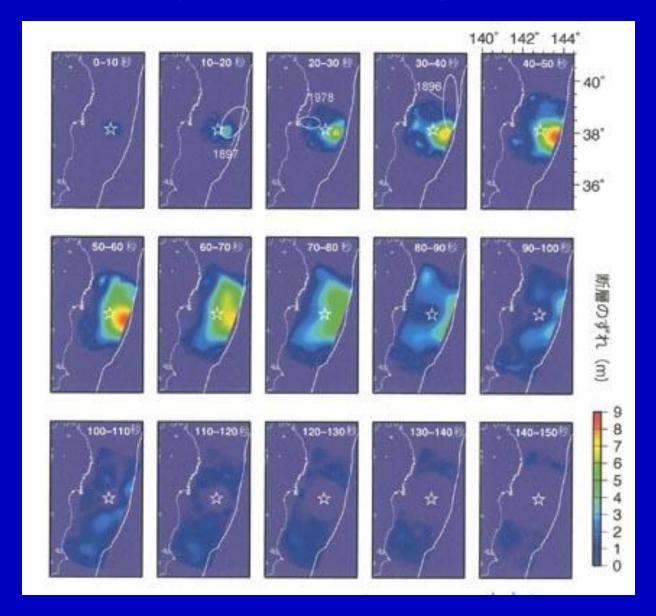
最大波高 40.5m

(宮古市)

#### 3.11 巨大地震と津波の発生地点



【写真=10秒ごとに、断層のずれを示した図。赤い領域がより大きく滑ったことを示す。
☆は震源(筑波大・京都大防災研究所の共同研究より)】



### 太平洋プレート

北海道南西沖地震

日本海中部地震

フォッサマグナ

南関東地震 東海地震 東南海地震 南海地震



北海道東方沖地震 十勝沖地震

東日本大震災の 震源域 三陸沖南部海溝寄り 宮城県沖 福島県沖 茨城県沖

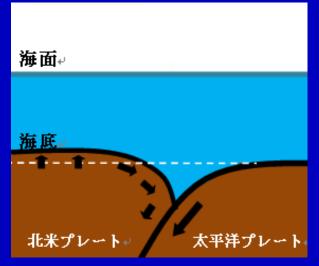
## 地震の型

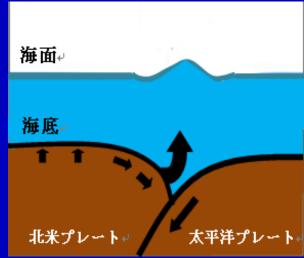
- 1. プレート境界型
  - 場所 1) 千島海溝…十勝沖地震
    - 2) 日本海溝…太平洋沖地震
    - 3) 南海トラフ…東海地震等
- 2. 日本海東縁変動帯型
  - 場所 1) 日本海中部地震
    - 2) 北海道南西沖地震

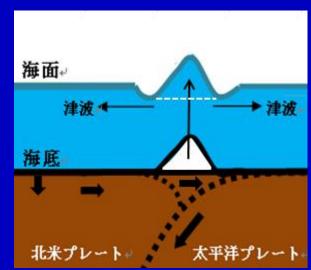
#### 海溝型地震と海底活断層(イメージ)



## 津波現象の起源







#### 「3・11」到達15分前 大津波の気圧変動観察



図1 ▲:気圧変動の観測地点

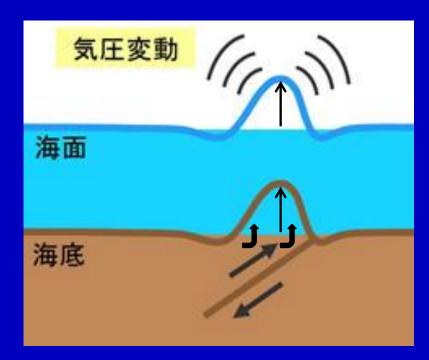


図2 津波による気圧変動

#### 「3・11」到達15分前 大津波の気圧変動観察

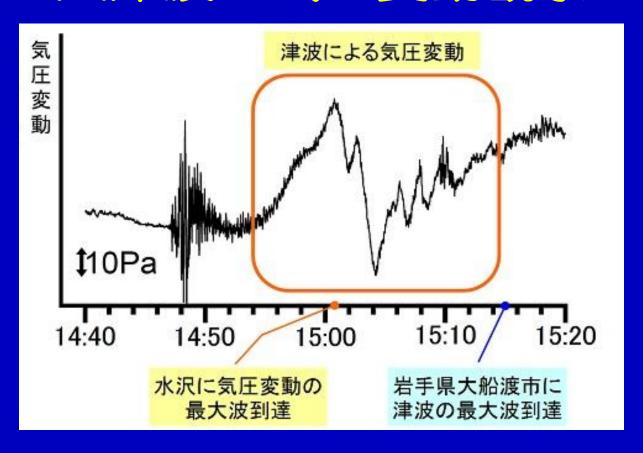


図3 国立天文台水沢VLBI観測所の観測記録 (2011年3月11日)

## 津波の話

祖父の昔話から

### 祖父の昔話

1) こわい話……幽霊

2) おっかない話……鬼

3) 恐ろしい話……地震と津波

4) 罰あたりの話……痛い目、祟り

# 地震と津波の話(祖父の昔話から)

地震があったら津波が来ると思え

1) 海の方に目・耳を向ける

2) 海鳴・磯鳴が聞えるか注意

3) 異常な引潮の有無の確認

# 恐ろしい話…地震と津波(祖父の昔話から)

- 1. 宫城沖津波
- 2. 三陸沖津波
- 3. 十勝沖津波
- 4. 大潮 (チリ地震津波1960年, 昭和35年)

### 大潮と高波・高潮

- 1. 大潮は、海面から海底までの水流 (エネルギー大で遠距離を減衰せず、 破壊力大)
- 2. 高波・高潮は海面の水流 (エネルギー小)

## 津波の進行と特性

- 1. 最大波高
- 2. 周期
- 3. 波長
- 4. 波速
- 5. 流速(伝播速度)

### 津波体験者多く死す

原因 津波は、緩急の変化あり

理由
詳細を忘れ、自らの前経験を信じている

### 津波避難の基本

1. 自助努力…生命の尊厳を守る

2. 生存避難…避難指示・勧告

### 住民対象の津波対策

津波は避難すれば助かる(津波災害知識)

- 避難指示
   建難勧告
- 3. 避難率(絶対量増)
- 4. 津波減災
- 5. 津波防災



### 私の生地吉浜村の教訓

#### 大船渡市内各地区別の被害状況

	東日本		チ	IJ	昭	和	明	治
	死者·行方 不明(人)	全半壊戸数 (戸)	死者•行方 不明(人)	全半壊戸数 (戸)	死者•行方 不明(人)	全半壊戸数 (戸)	死者•行方 不明(人)	全半壊戸数 (戸)
末崎町	61	734	0	1	39	173	960	59
赤崎町	60	650	3	87	99	150	506	_
大船渡町	143	1,140	50	537	1	54	832	207
盛町	17	428	_	_	_	_	_	_
越喜来地区	96	310	_	_	87	153	802	120
綾里地区	26	183		<u> </u>	178	249	330	290
吉浜地区	1	5	_	_	17	15	982	70

(東日本大震災は5月6日時点。チリ、昭和、三陸の各被害は「大船渡災害誌」による。「一」はデータなし)

# 私の生地 吉浜









## 医療·福祉施設運営と地震· 津波対策

一私は、常に考慮した一

### 一介護施設の津波対策案一

平成22・23年度 陸前高田市地域密着型サービス施設整備事業 地域密着型介護老人福祉施設・認知症対応型共同生活介護 短期入所生活介護事業所

- 1. 実施主体 ……… 社会福祉法人典人会
- 2. 施設の種類

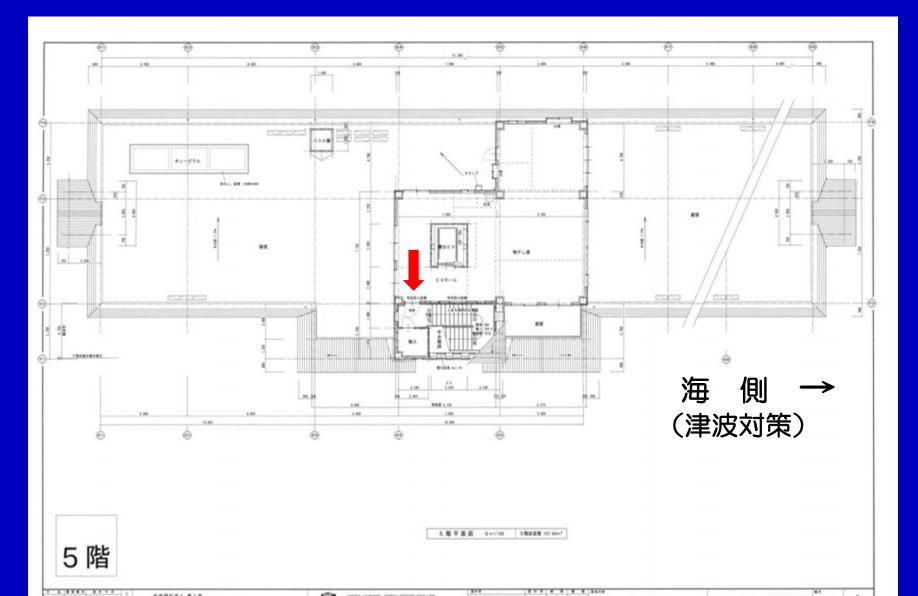
地域密着型介護老人福祉施設 …… 定員29名 認知症対応型共同生活介護事業所(GH) … 定員 9名 ユニット型短期入所生活介護事業所 … 定員20名 地域交流ホール … 342㎡

3. 津波対策…一部5階 1~5階 階段・エレベーター 同規格

# 完成予想図

海 側 側 (津波対策)

## 5階平面図



### 人まち条例対応階段

### 屋上点検階段(避難階段) (狭い踏面・蹴上階段)





### 地震・津波と施設整備

- 1. 屋上避難利用
- 2. 非常用照明
- 3. オール電化(ソーラーと蓄電)
- 4. ベッド等の固定
- 5. 水の確保

















## トリアージ

- 1. 大災害によって多数の被災者が発生した際に、どの負傷者から治療するかの治療優先順位の区分
- 2. 現場の人材・機材などを最大限に活用

(参加施設:岩手県立高田病院、陸前高田市、 介護者人保健施設松原苑・松原クリニック)













### 岩手県のハザードマップ

沿岸市町村のハザードマップには、

津波浸水想定区域が示されている。

### 津波浸水想定区域

平成16年、岩手県は津波をシュミレートし、 国道45号線上に道路標示標識を設置 (平成18年~平成19年)

〈 始点側 〉



〈終点側〉









# 近くの住民が撮影した「S特養」中庭の様子。津波襲来前の3月11日午後3時ごろとみられる(河北新報記事より)



# S特養・C老健の惨劇

#### 3.11の東日本大震災において

S特養						
		震災当日 死亡者数		死亡率(%)		
利用者		67 <mark>56</mark>		84		
職	員	18	1	6		
	計	85	57	67		

C老健					
		震災当日	死亡者数	死亡率(%)	
利用者		96 74		77	
職	員	48	14	29	
	計	144	88	61	

# 災害派遣医療チーム (DMAT)

- 医師、看護師、業務調整員で構成
- 事後現場におおむね48時間以内に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム
- ・厚生労働省により、平成17年4月に日本DMATが 発足
- ・ 災害基本法の防災計画に位置付けられている
- Disaster Medical Assistance Teamの頭文字

# 日本医師会災害医療チーム (JMAT)

- 医師1人、看護師2人、事務職員(運転手)1人 で構成
- ・派遣期間は、3日から1週間程度の交代制
- 避難所・救護所における医療。また、被災地域の病院、診療所の診療への支援避難所の状況把握と改善。在宅患者・避難者の医療・健康管理
- Japan Medical Association Teamの頭文字

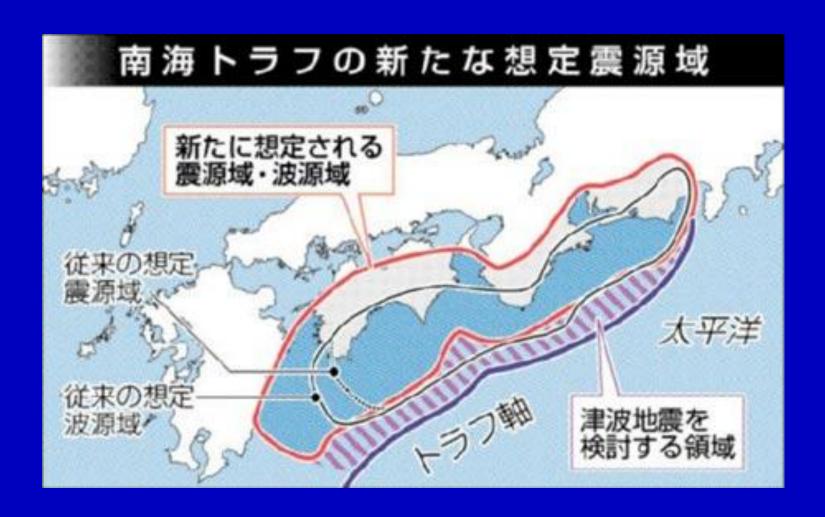
# 災害派遣介護チーム (DCAT) の 提案 (2011. 3. 28, 大船渡市)

- 介護チームの構成員ソーシャルワーカー、介護福祉士、 看護師、業務調整員で構成
- ・徹底した研修、拠点等の組織化
- 事故現場に概ね36時間以内で駆けつける
- DCAT…Disaster Care Assistance Team
   大塚耕平厚労副大臣(2011. 3. 22, 予算委員会)
   (2012. 2. 7, DCATについて、厚労省:調査研究事業検討委員会開催)

## 全者健災害派遣ケアチーム (JCAT)

- 介護職員・看護職員・リハビリ専門職・支援相談員等で構成(必要に応じて、医師、薬剤師、歯科衛生士、 栄養士、事務職員等が加わる)
- ・多職種による介護ケアチームを全老健の都道府県支部で最低1チーム以上編成
- 派遣期間は、災害発生直後~2週間程度(J-MATとの 連携)
  - または、2週間~3ヶ月程度(介護サービス事業者団体と連携)
- Japan Care Assistance Teamの頭文字

# 南海トラフの巨大地震



# その他の災害

- 1. 山津波
- 2. 広範囲山崩れ
- 3. 川の氾濫
- 4. 川の激流
- 5. 巨大台風

- 6. 広範囲強風
- 7. 大雨
  - 8. 大雪
  - 9. 直下型地震

## その他の災害と訓練

1. 山津波

山間部でみられる段波状の先端部を もった土石流や洪水。

2. 広範囲山崩れ

山地の斜面をつくっている岩石や土 壌の一部が突発的に崩壊する現象。 崖崩れも山崩れの一種である。

3. 川の氾濫

川の水などが増して勢いよくあふれ 出ること。洪水になること。

4. 川の激流 川が非常に激しく速い勢いで流れる こと。 5. 巨大台風

北西太平洋や南シナ海に存在する熱帯低気圧のうち、中心付近の最大風速が約17m/s(34 ノット、風力8)以上のものを指す。

- 6. 広範囲強風
- 7. 大雨
- 8. 大雪
- 9. 直下型地震

内陸部にある活断層で発生する、震 源の浅い地震。人の住む土地の真下 で発生する地震。



# 老健の地域支援についてーその理念と役割ー

## 老健施設の誕生経緯

- 1. 高齢化への認識の高まり (「中間施設に関する懇談会」の報告書…1985年8月)
- 2. 長寿社会への具体的施策の一つ (「長寿社会対策大綱」が示される…1986年6月)
- 3. 1987年4月モデル事業の老健施設7ヶ所指定
- 4. 1988年4月老健施設事業の本格実施

1989年12月社団法人全国老人保健施設協会設立2011年8月社団法人から公益社団法人となる。

### 老健・特養・療養型 3施設の違い 入所に関する項

1)介護老人保健施設(医療施設)1988年

医学的管理の下における介護及び機能訓練、在宅復帰

2) 指定療養型医療施設(医療施設)2000年

長期にわたる療養及び医学的管理の下 における介護

3) 指定介護老人福祉施設(福祉施設)1964年

介護の必要の程度及び家族等の状況

## 老健の理念と役割 (1989年)

老人保健施設は利用者の自立した生活を営むことを支援し、家庭復帰をめざします。また、施設は明るい家庭的な雰囲気を持ち、地域や家庭との結びつきをめざします。

#### 老健施設運営の指標

- 1. 自立支援
- 2. 家庭復帰
- 3. 家庭的雰囲気
- 4. 地域・家庭との結びつき

### 老健施設の新しい理念 (2005年1月)

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、 安全に配慮しながら、生活機能の維持・向 上を目指し総合的に援助します。また、家 族や地域の人々・機関と協力し、安心して 自立した在宅生活が続けられるよう支援し ます。

## 老健施設の新しい役割

- 1. 包括的サービス施設
- 2. リハビリテーション施設
- 3. 在宅復帰施設
- 4. 在宅生活支援施設
- 5. 地域に根ざした施設

### 老健施設ケア理念のキーワード

- 1. 尊厳
- 2. 安全、安心
- 3. 個別性、自己決定、選択の自由
- 4. 自立生活、生活機能の維持・向上
- 5. 生活の継続性、在宅生活支援、介護負担の軽減
- 6. 地域に根ざした施設
- ★7. 積極的地域密着の支援

#### 老健施設ケアサービスのキーワード

- 1. 施設サービス計画、リハビリテーション実施計画
- 2. チームアプローチ
- 3. 個別リハビリテーション、在宅復帰
- 4. 活動、参加
- 5. サービスの総合性、持続性
- ★6. 連携、ネットワーク
- ★7. 地域啓発
- ★8. 介護予防、支援

# 1. 包括的ケアサービス施設 (総合的ケアサービス施設)

1. 利用者の尊厳を支える

プライバシーを守ること 選択の自由を保障、自立支援

2. チームで支援

全職員がプロとして様々な技術を発揮 しながら努力する

3. 利用者の状態に応じた目標と支援計画

# 2. リハビリテーション施設(新たに追加された)

- 1. 活動や参加の促進
- 2. 維持期リハビリテーション
- 3. 体力や基本動作能力の獲得
- 4. 住宅改造・修理等による生活環境の調整
- ★5. 生活的機能訓練



生活機能の維持・向上

# 3. 在宅復帰施設(家庭復帰施設)

- 1. 徹底した個々の状態像に応じた支援脳卒中、廃用症候群、認知症など
- 2. 多職種からなるチームケアによるアプローチ 医師、看護・介護職員、OT/PT/ST、支援相談員、 管理栄養士、事務職員など
- 3. 利用者が期待する自宅での生活が可能に

生活機能の維持・向上

### 4. 在宅生活支援施設

(在宅ケアを支援する施設)

・ 在宅復帰した利用者が安心して継続的な生活ができるように支援する

〇心身機能の維持・向上→介護予防

○関係機関との連携→家族介護負担の軽減

# 5. 地域に根ざした施設 (地域に開かれた施設)

- 様々なケアの相談、ボランティアの 受け入れや育成→地域の信頼
- 2. 地域と一体となったケア→住民が安心して住み良い地域づくり活動の展開
- 3. 評価・情報公開を積極的に行う→利用者のサービスの選択の充実

# まとめ

- 1. 「老健施設の理念、5つの役割と機能」を基本 に利用者主体の介護サービスを提供する姿勢 を育むことが大切である。
- 2. それぞれの施設独自の理念をしっかりと認識 しながら、チームケアを充実していくことが 望まれる。
- 3. 利用者の継続的支援を見据え、施設、家庭、地域が一体となった支援が必要である。
- ★4. 地域密着型サービス事業所、家庭との連携強化・ 支援



## 日本人の心理

日本人は、死生観・倫理観・宗教・心情等が繊細に織り込まれた心を持つ民族である。

- 1. 家族、家庭、出生地への執着心が強い。
- 2. 自分の住み慣れた土地、家、自然や愛着のある家庭での生活と、そこで死を迎えたいという情緒的な強い願望を抱いている。
- 3. 最期は美しく、清潔でありたい。「Sunset is as beautiful as sunrise」 (夕日は朝日と同じように美しい)

生活習慣を大切にする設い

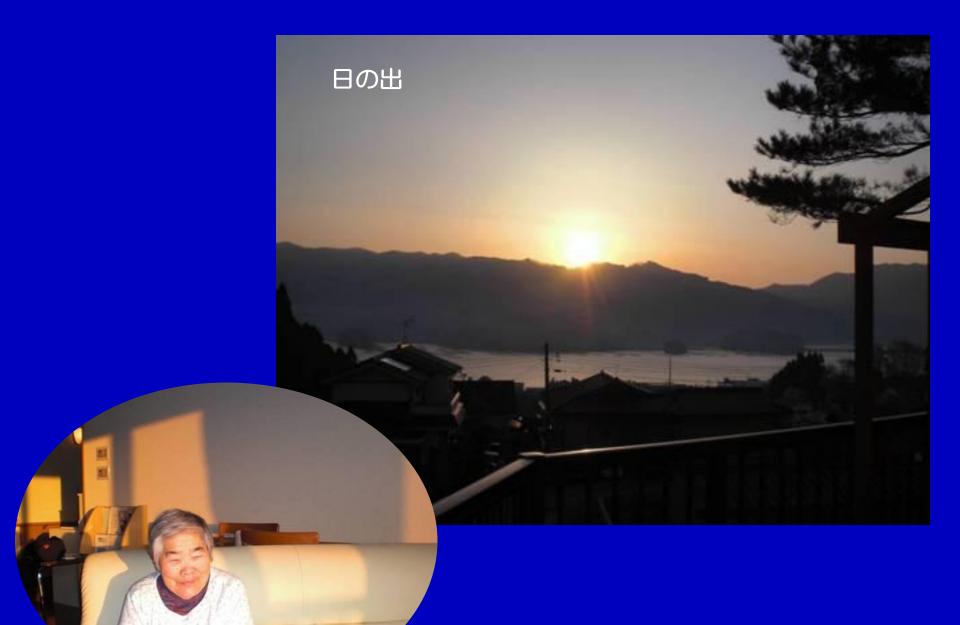
一神棚を拝む利用者一



神棚

A PROPERTY OF

ディサービスセンター「菊田」(認知症専門)



地域密着ケアホーム「平」





# 日本の65歳以上の人口

(2005年)

(2011年)

1. 総人口

127,767,994人

127,720,000人

2. 65歳以上の人口

25,672,005人

29,830,000人

3. 高齢化比率

20.0%

23.3%

(超高齢社会)

2005年、 2011年10月1日現在 総務省調べ

#### 日本の高齢化率の推移

年	高齢化率(%)		国の動き
1963	6.1%		老人福祉法の制定
1964	6.2%		特別養護老人ホームの開設
1970	7.1%	高齢化社会	
1979	8.9%		デイサービス事業の開始
1982	9.6%	24年間	老人保健法の制定
1988	11.2%	<b>↓</b>	老人保健施設の開設
1994	14.1%	高齢社会	
1997	15.7%		グループホームの制度化
2000	17.4%	13年間	介護保険法の制定
2005	20.0%	<b>\</b>	介護保険法の改正(地域密着型サービスの創設)
2007	21.0%	超高齢社会	
2008	22.2%		
2011	23.3%		
2012		↓	介護保険法の改正(地域包括ケアシステムの構築)

※日本は、2005年に高齢化率20%となり、イタリアを追い扱さ世界トップとなっている

## 介護保険法の制定 (2000年)

- 1. 高齢者への財政負担
  - 1) 利用者からの料金負担 ・・・10%
  - 2) 公費(国・県・市町村)負担・・・90%
- 2. 介護支援
  - 1) 在宅サービス(グループホーム含)
  - 2) 施設サービス(略50~200床の大規模)
    - ①介護老人福祉施設
    - ②介護老人保健施設
    - ③介護療養型医療施設

## 高齢者介護モデルの変更

日本は、2003年に高齢者の介護は、身体モデルから認知症モデルに変更された。

- 1. 認知症の人数 2,125,000人
- 2. 認知症率 7%

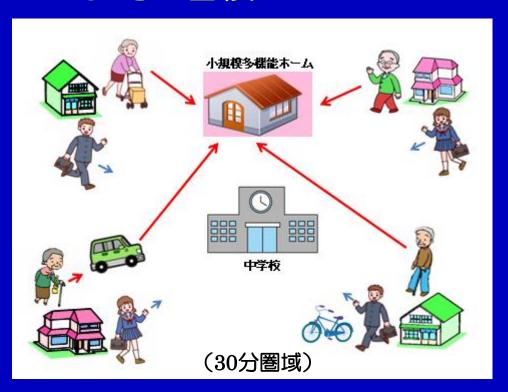
```
厚労省認知症高齢者の将来推計 2010年(280万人、9.5%)
2012年(305万人、9.9%)、 2015年(345万人、10.2%)
2020年(410万人、11.3%)、2025年(470万人、12.8%)
```

### 介護保険法の改正(2005年) 地域密着型サービスの創設

#### 地域密着型ケアの概念

- ◎サービスを利用する側、支援する側の双方が共有する理念を持ち続けられる。
  - 1. 地域での生活
    - 高齢者の今までの生活を途切れさせない地域の馴染みの力 を大いに活用できる
  - 2. 小規模で多機能 家庭で生活する規模と同一で、使いたい時にちょうどの サービスが利用できる
  - 3. 経営の視点 建物が一軒家の規模であるために、整備費や運営費が安価であること
  - 4. 地域との融和 地域での社会性を大切にし、育む

#### 地域密着の概念(中学校区、30分圏域) 徒歩や自転車で通学可能な距離で、中学校を中心と した地域とおおよその面積



- 1. 中学校は全国で10,092校(2011年5月1日現在)
- 2. 認知症グループホーム事業所は11,416ヶ所(2011年10月31日現在)
- 3. 小規模多機能型居宅介護は3,223ヶ所(2011年10月31日現在)

### 介護保険制度下の介護サービス 日本の高齢者介護の新たな潮流 一地域密着型サービスー

- 1. 在宅サービス
- 2. 施設サービス
- 3. 地域密着型サービス

# 3. 地域密着型サービス (2006年4月施行)

#### 1.予防給付におけるサービス

介護予防支援 地域密着型介護予防サービス

- ①介護予防小規模多機能型 居宅介護
- ②介護予防認知症対応型 通所介護
- ③介護予防認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)

#### 2. 介護給付におけるサービス

地域密着型サービス

- ①小規模多機能型居宅介護
- ②夜間対応型訪問介護
- ③認知症対応型通所介護
- ④認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)
- ⑤地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護
- ⑥地域密着型特定施設 入居者生活介護

## 地域密着型ケアサービスと概念

①小規模多機能型 居宅介護

③介護予防認知症対 応型共同生活介護 (グループホーム)

②夜間対応型訪問 介護

②介護予防認知症 対応型通所介護

中学校

③認知症対応型 通所介護

在宅サービス+

①介護予防小規模多 機能型居宅介護

X

4認知症対応型共 同生活介護 (グループホーム)

⑥地域密着型特定施 ⑤地域密着型介護 設入居者生活介護

老人福祉施設入所 者生活介護

施設サービス

(30分圏域)

## 運営推進会議

(1回/2ヶ月)

- 1. 利用者、事業所職員と地域住民との 交流と理解の場
- 2. 地域住民、行政、主治医との情報交換の場
- 3. サービスの質・安全・安心の確保
- 4. 事業運営の透明性の確保
- ★5. 高齢者保健・医療・介護・福祉における 地域からの情報源
- ★6. 介護保険制度改正の基礎資料

# 運営推進会議



地域生活支援

## 結論

日本は超高齢社会であり、今後さらに高齢化率が上昇し、介護給付額が膨らむ一方であることは確かである。

- 1. 経済面、介護面から勘案するに大規模施設の建設から 小規模事業所の建築へと変移せざるを得ない。
- 2. 地域に根ざした地域密着型小規模の居宅介護事業所の 介護は、住民(国民)から容易に受け入れられる。
- 3. 事業所の運営推進会議の開催は、地域高齢者一人一人の情報取得の源になり、種々の事態に迅速な対応が可能となると共に近い将来、わが国の高齢者の保健・医療・介護・福祉の情報の拠点となると思われる。
- 4. 10年後の日本における高齢者の介護サービスは地域 密着型小規模介護事業が主流になると予想される。

# 高齢者の人の尊厳が守られる理想郷づくりをめざして

一地域密着高齢者ケアに目覚めて一 (1976年)

## 透析センターへの無料送迎

- 1. 透析センター開所・・・1975年(昭和50年)
- 2. 無料送迎開始…1976年(昭和51年)
- 3. 対象者…高齢者、認知症の人、障害者、一般透析患者
- 4. 車 種…普通車、ワゴン車、中型バス、軽自動車
- 5. 成 績…高齢者、認知症の人、障害者等の医療施設 からの在宅復帰(看・介護化)、在宅看取り

## 看取りへの取り組み

- 1. 介護老人保健施設 気仙苑(152床)
- 2. 1991年5月開所と同時に取り組む(平成3年)
- 3. 2007年3月苑内看取り委員会設立(平成19年) (施設運営部会管理運営委員会)
  - 委 員···医師、看護師、介護士、施設ケアマネ 支援相談員、管理栄養士、事務員
  - 看取り件数···介護保険制度施行(平成12年度)後から 253名死亡(ターミナルケア加算72件)
- 4. 問題点
  - 1) 医療、看護・介護上の看取り理解
  - 2) 遠距離家族への気配り(配慮、考慮)
  - 3) 本家、縁者、上司等への気配り(配慮、考慮)

## 気仙呆け老人を抱える家族の会 創設の目的 (1993年創設)

- 1. 痴呆症の人の介護に関する諸問題解決のための援助と支援
- 2. 市民や痴呆症の人を抱える家族に対して、 「痴呆症」に対する正しい理解の様々な啓発、 啓蒙活動
- 3. 徘徊老人安心ネット活動

### ボランティア「気仙ボケー座」の旗揚げ

テーマ: 広げよう!ぼけへの理解

団 員: 家族の会、介護職員

内容:「物忘れの違い」

「ごはん戦争」、「うんち戦争」

「徘徊騒動」、「ボケ隠し顛末」

「精神余命(2002年)」

公演回数:1994年9月から234回

(地域の公民館から海外公演まで)

# Standards for Group Homes

Residents: 5 – 9

Resident-to-staff atio:

Day: 3:1

Night: 9:1

Manager Care Manager Care worker (Nurse)



## 全国痴呆性高齢者ケア大会

- 1. 開催地・・・岩手県大船渡市(三陸海岸にあり)
- 2. 開催日…1997年(平成9年10月)
- 3. 参加者・・・約1,300名(沖縄から北海道)

(全国規模の痴呆症ケア大会は国内初である)

# 高齢者の内的世界を理解する会(1998年)

高齢者の人の内的世界を垣間見る

- 1) 生活史、生活の特性、習慣、趣味、生活の張り
- 2) 本人の語りから学ぶ
- 3) 客観的指標から推察する

### 演者が運営するグループホーム

名称

開所年

1. ひまわり

1996年

1998年以来、オーストラリア、シドニー市の ハモンド・ケアグループと認知症ケアについて

共同研究・情報交換をし、現在に至る。

2. つばき

2000年

3. りんご

2001年

4. 綾 姫

2005年

5. 竹の里

2006年

6. 金 山

2006年

7. 平

2009年

8. 後ノ入

2011年

9. 氷上山

2012年

# 演者が運営する地域密着型

居宅介護

名称 開所年

1. 後ノ入 2008年

2. 厨 2008年

3. 小百合 2008年

4. 平 2009年

(グループホームとの合築のため 現在注目されている。)

5. 玉 山 2011年

三二特老

6. 陸前高田 2012年

# 日本は2007年に超高齢社会(高齢化率21%)に突入

## 高齢者の人の苦悩

- 1. 身の回りの諸問題の拡大 (身辺動作、整容、美容、清潔の困難など)
- 2. 合併症としての障害の重度化
- 3. 看護・介護負担の増大
- 4. 心理的・社会的問題等の重層化
- 5. 霊的世界への関心増強

# 高齢者への対応(ケアの変遷)

- 1. 医療を提供する=Cure (~1980年: 昭和55年)
- 2. 看護・介護を提供する=Care (1980年~)・(1988年~)
- 3. 社会資源を提供する=Service (1990年~: 平成2年)

# 三位一体モデル



保健•医療•福祉



## 高齢者ケアの良質なケア

- 1. 高齢者の特性と心理
- 2. 高齢者ケアの原理
- 3. 住環境
- 4. 日常生活
- 5. 職員体制
- 6. 利用者の尊厳

- 7. 人権と権利擁護
- 8. 利用者と職員の関係
- 9. 利用者同士の関係
- 10. 職員と利用者家族との関係
- 11. 地域との関わりと ネットワーク作り
- 12. 保健・医療・看護・介護・福祉・支援相談等との連携構築

# 地域包括ケアシステムと老健ーキラリと輝く老健一

# 地域包括ケアシステムの構築(2012~2025年)

- 1. 高齢者ケアの必要性の増大
- 2. 単独世帯の増大
- 3. 認知症の人の増加

### 地域包括ケアシステムの基本理念

高齢者が住み慣れたその地域で、その人らしく、継続的な生活を可能とする自立支援、保健・医療・看護・介護・福祉等や地域密着型ケアサービスの提供。

## 地域包括ケアの視点

- 1) 医療との連携強化
- 2) 介護サービスの充実強化
- 3) 予防の推進
- 4) 見守り等の多様な生活支援サービスの確保、権利擁護・福祉サービス推進
- 5) バリアフリーの生活環境整備

## 地域包括ケアシステムの概念

- ③権利擁護・虐待防止
- ②地域生活支援
- ①地域保健・医療・ 看護・介護・リハビリ 等・福祉 **山学**校
- ③介護予防認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)
  - ②介護予防認知症対 、 応型通所介護
    - ①介護予防小規模多機能 型居宅介護

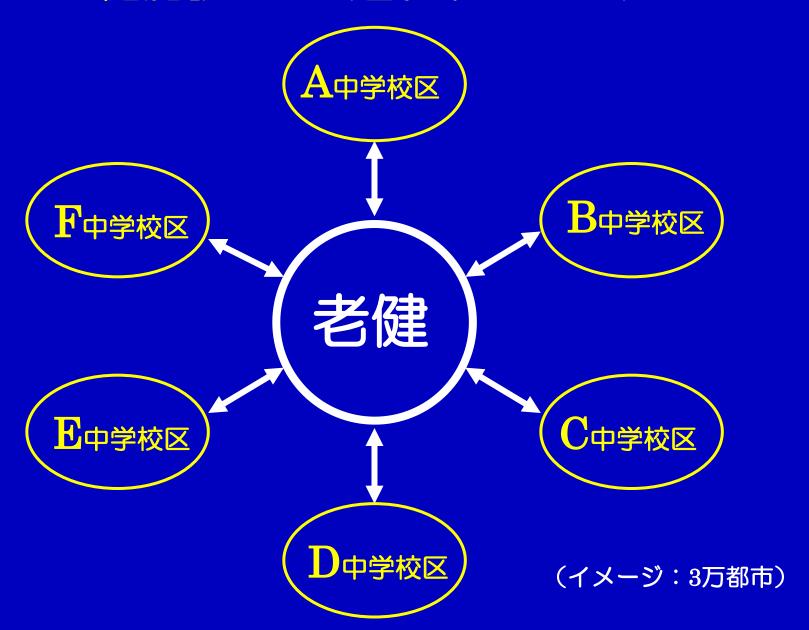
- ①小規模多機能型 居宅介護
- ②夜間対応型訪問介護
  - ③認知症対応型通所 介護
  - ④認知症対応型共同生活 介護 (グループホーム)
  - ⑤地域密着型介護老人福 祉施設入所者生活介護
- ⑥地域密着型特定施 設入居者生活介護

+

X

施設サービス・高専賃住宅等

### 老健施設と地域包括ケアシステム



## キラリと輝く老健

### 地域包括ケアの中核としての老健施設

- 1. 医療・看護・介護の充実
- 2. リハビリテーションの充実
- ★3. 認知症へのより高度な対応
  - 4. 地域生活支援•自立支援
  - 5. 福祉・権利擁護の啓発・啓蒙
- ★6. 新全老健版ケアマネジメント方式 R4システムの進化、普及

### I. キラリと輝く老健 一地域包括ケアシステムの拠点を目指す一

- 1. 医療・看護・介護の拠点
  - 1) 医療・看護・介護職等の高潔な理念と高度な技術提供
  - 2) 不測の事態に迅速な治療・対処・対応
  - 3) 積極的な訪問診療・看護・介護の提供

### II. キラリと輝く老健 一地域包括ケアシステムの拠点を目指す一

### 2. リハビリテーションの充実

- 1) リハビリ専門職による高度なリハビリ技術の提供
- 2) 地域リハビリテーションの拠点
- 3) 地域と協同しての介護予防の充実
- 4) 積極的な自立支援、地域づくり、街づくりへの参加

### Ⅲ. キラリと輝く老健 一地域包括ケアシステムの拠点を目指す一

- 3. 認知症についての高度な対応
  - 1) エキスパートとしての対応
  - 2) 認知症高齢者・家族にとって真に頼り になる存在
  - 3) 地域における認知症の積極的啓発・教育活動

### IV. キラリと輝く老健 一地域包括ケアシステムの拠点を目指す一

#### 4. 地域生活支援 • 自立支援

- 1) 人権擁護や倫理観を大切にした責任と意欲あるケアの提供
- 2) 地域を大切にした親密な関係構築
- 3) 地域で調整が図れる高度な専門性・指導性・ 教育性の発揮
- 4) 地域社会資源の開発と地域制度構築への 協力・提唱・提案

### V. キラリと輝く老健 一地域包括ケアシステムの拠点を目指す一

- 5. 福祉・権利擁護の啓発・啓蒙
  - 1) 民生委員、日常生活支援員、ケースワーカー、 補佐・助人、法定後見人、司法書士、弁護士 との密接な関係維持
  - 2) 個人の生活を支えるアセスメントや地域アセ スメントの理解と提供協力
  - 3) 支援を必要とする人の主訴を大切にした合意 形成のケア提供
  - 4) 障がい者・生活保護受給者等の相談支援能力の 確立、保持

### VI. キラリと輝く老健

#### 一地域包括ケアシステムの拠点を目指す一

#### 6. R4システム

(新全者健版ケアマネジメント方式)

#### 1) 入所前後訪問指導加算の新設

R4システムにおけるインテークの取り組みが、そのまま 新設の介護報酬の加算として評価されたものである。

#### 2) 老健が老健らしくあるための指針

R4システムの多職種協働や暫定ケアプラン等により、ケアの質の向上が期待され、かつ、在宅復帰率の改善にも寄与することが知られている。

3) R4システムのソフト化完成 R4システムのソフト(請求ソフトとの連動が可能)が完成。

### WI. キラリと輝く老健 一地域包括ケアシステムの拠点を目指す一

### 7. オレンジプランと老健施設

- 1) 認知症ケアパスの作成と普及
- 2) 早期診断と対応
- 3) 地域での日常生活支援と医療支援
- 4) 看・介護サービスの構築
- 5) 家族の支援強化
- 6) 若年性認知症への支援
- 7) 看・介護,リハビリを担う人材育成